

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 22 日

福岡県知事 殿

提出者

福岡県大牟田市新港町

住 所

1番地46

氏 名

株式会社シグマパワー有明

代表者：センター長

電話番号 0944-52-3030

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 シグマパワー有明 三川発電所
事業場の所在地	福岡県大牟田市新港町 1番地46
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	F. 電気・ガス・熱供給・水道業
② 事業の規模	発生電力量 50,000KWH
③ 従業員数	59人程度
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	排出 → 産廃置場 → 収集運搬 → 中間処理場or埋立処理場

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

発電所センター長 → 発電・保守部 部長 → 発電・保守部 課長 → 機械係長(保守員)
 ↓
 総務・経理部 部長 → 廃棄物担当者
 → 発電係長(運転員)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和 6 年度）実績】		
産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻
排出量	7,592 t	3,840 t
産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	管理型混合廃棄物
排出量	0 t	1.63t t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
排出量	0.731t	1.01t
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	ゴムくず
排出量	0.150t	2.530t
産業廃棄物の種類	廃油	
排出量	0.016t	t
産業廃棄物の種類		
排出量	t	t
(これまでに実施した取組)		
ボイラー熱効率低下の防止 燃焼用過剰空気量の調整		

②計画

【目標】		
産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻
排出量	7,600 t	4,000 t
産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	管理型混合廃棄物
排出量	t	2.000t t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
排出量	1.000t t	2.000t t
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	ゴムくず
排出量	0.200t t	3.000t t
産業廃棄物の種類	廃油	
排出量	0t	t
産業廃棄物の種類		
排出量	t	t
(今後実施する予定の取組)		
上記継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
専用サイロ及び保管倉庫の維持管理、他種類毎の分別徹底

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
上記の継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	管理型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	ゴムくず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
中間処理業者(埋立処分業者)委託			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	管理型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	ゴムくず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
上記の継続			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和 6 年度）実績】		
産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t t	0t t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t
産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	管理型混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t t	0t t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t t	0t t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t t	0t t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t t	0t t
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	ゴムくず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t t	0t t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t t	0t t
産業廃棄物の種類	廃油	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t t	t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t
(これまでに実施した取組)		

②計画

【目標】		
産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t
産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	管理型混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	ゴムくず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t
産業廃棄物の種類	廃油	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	ゴムくず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	t
	産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t t	0t t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t t	0t t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t t	0t t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	ゴムくず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t t	0t t
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t t	t
	産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

①現状

【前年度 (6 年度) 実績】

産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻
全 処 理 委 託 量	7,592 t	3,840 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2,286 t	t
再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	6,914 t	3,763 t
認定熱回収業者への 認 定 熱 回 収 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 認 定 熱 回 収 委 託 量	t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類	水銀使用製品産業廃棄物	管理型混合廃棄物
全 処 理 委 託 量	0 t	1.63t t
優良認定処理業者への 優 良 認 定 委 託 量	0 t	0t t
再生利用業者への 再 生 利 用 委 託 量	0 t	1.63t t
認定熱回収業者への 認 定 熱 回 収 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 認 定 熱 回 収 委 託 量	t	t

(これまでに実施した取組)

産廃置き場の分別

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻
全 処 理 委 託 量	8,000 t	4,000 t
優良認定処理業者への 優 良 認 定 委 託 量	3,000 t	t
再生利用業者への 再 生 利 用 委 託 量	7,000 t	4,000 t
認定熱回収業者への 認 定 熱 回 収 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 認 定 熱 回 収 委 託 量	t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類	水銀使用製品産業廃棄物	管理型混合廃棄物
全 処 理 委 託 量	t	1.50t t
優良認定処理業者への 優 良 認 定 委 託 量	t	1.50t t
再生利用業者への 再 生 利 用 委 託 量	t	1.50t t
認定熱回収業者への 認 定 熱 回 収 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 認 定 熱 回 収 委 託 量	t	t

(今後実施する予定の取組)

上記の継続

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

①現状

【前年度 (6年度) 実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
全 処 理 委 託 量	0.731t	1.01t
優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0 t	t
再 生 利 用 業 者 へ の 再 処 理 委 託 量	0.731t	1.010t
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0t t	t
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0t t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類	ガラスくず等	ゴムくず
全 処 理 委 託 量	0.150t	2.530t t
優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
再 生 利 用 業 者 へ の 再 処 理 委 託 量	0.150t	2.530t
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t

(これまでに実施した取組)

産廃置き場の分別

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
全 処 理 委 託 量	1.00t t	1.00t t
優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
再 生 利 用 業 者 へ の 再 処 理 委 託 量	1.00t t	1.00t t
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類	ガラスくず等	ゴムくず
全 処 理 委 託 量	0.10t t	2.50t t
優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
再 生 利 用 業 者 へ の 再 処 理 委 託 量	0.10t t	2.50t t
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t

(今後実施する予定の取組)

上記の継続

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

①現状

【前年度 (6年度) 実績】

産業廃棄物の種類	廃油	
全 処 理 委 託 量	0.016t	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.016t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.016t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類		
全 処 理 委 託 量	t	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t

(これまでに実施した取組)

産廃置き場の分別

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	
全 処 理 委 託 量	0 t	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類		
全 処 理 委 託 量	t	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t

(今後実施する予定の取組)

上記の継続